

## 親子の相互作用を促すことで養育者の発達を期待した 地域親子支援グループ（集まれAキッズ）の開催

事業責任者： 榊原信子（子どものこころの発達研究センター 学術研究員 臨床心理士  
連合大学院 小児発達学研究科 博士課程3年）

<b>概 要</b>	親子の相互作用がポジティブなかかわりになるよう働きかけ、養育者が育児を肯定的にとらえることを目指した「親子遊び教室（集まれAキッズ）」を、2017年10月～月一回開催してきた。本事業が終了した後も、町独自で「集まれAキッズ」の運営が継続できるよう、以下のことに取り組んでいった。 ①本事業を「保育カウンセラー配置事業」に位置づけ、子育て支援課保育師が養育者支援の視点で活動リーダーを担えるようプログラムの検討を重ね、松岡保健センターと子育て支援課の連携を強化していった。 ②「プログラム」は、子どもの行動を養育者が理解しやすいよう半構造化し、福井大学スタッフが養育者に対するロールモデル、コーチング、フィードバック等で支援する方法を町スタッフと共有していった。 ③本事業が、養育支援者の研修機能も担えるよう、町内幼稚園園長も交替で毎回参加し、児童発達支援等の福祉サービスを担う福祉保健課職員の参加も加わり、関係機関の連携を拡充していった。 ④本事業による「子育て支援ニーズ」の掘り起こしにより、「発達個別相談」事業（年2回）を本事業の前後の時間に配置し、心理士予算（年12回×2人分）の確保に至り、専門相談の機会の充実を図っていった。
<b>関連キーワード</b>	半構造化親子遊び、養育者支援、支援者研修、他機関連携、子育て困難の援助希求

### 事業の背景および目的

子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門では、2012年8月から永平寺町保健センター協力のもと、出生してから5歳までの乳幼児とその養育者の発達追跡研究「Aキッズ調査」を継続中である。本事業は、調査協力養育者への個別フィードバックと協力自治体(永平寺町)への成果還元を兼ね、半構造化された集団場面で、親子の相互作用がポジティブなものになるよう支援者が働きかける「プログラム」により、子どもの社会性発達を促し、養育者自身が育児を肯定的にとらえることを期待して、福井大学主導で始めたものである。本事業の目的は「Aキッズ調査」が終了する2021年3月までに、町が独自で本事業を運営し、子ども達が就学した後、子育て困難に遭遇した養育者が「自ら援助希求できる・援助希求しやすい地域」となることである。目標は、①主催する担当部署を決める、②現場に合わせた「プログラム」を検討する、③運営リーダー及び関係機関の人材を育成する、④子育てニーズを把握し、運営費を予算化することとした。

### 事業の内容および成果

#### 1) 「集まれAキッズ」の開催（当日の事業運営計画：別添）

実施場所：永平寺町立松岡保健センター

開催予定日：毎週第4土曜日9時半～10時半(親子遊び) 11時半～(個別相談)

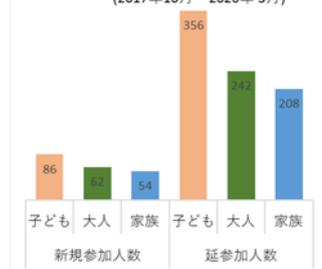
募集方法：1歳半・3歳児健診、5歳の歯科相談等の母子保健活動、及び幼稚園の生活などで、子どもの発達が気になる、養育者が子どものかかわりに困っていると感じられた際にチラシを配布し案内（別添）

スタッフ：《永平寺町》松岡保健センター保健師（1名）子育て支援課保育師（1名）福祉保健課保健師（1名）幼稚園園長（交替で1名）  
《福井大学》派遣保育師（1名）、派遣心理士（3名）

参加状況：《右図参照（参加回数平均）2018年度2.6回 → 2019年度3.9回》

集まれAキッズ参加状況

(2017年10月～2020年3月)



#### 2) 成果

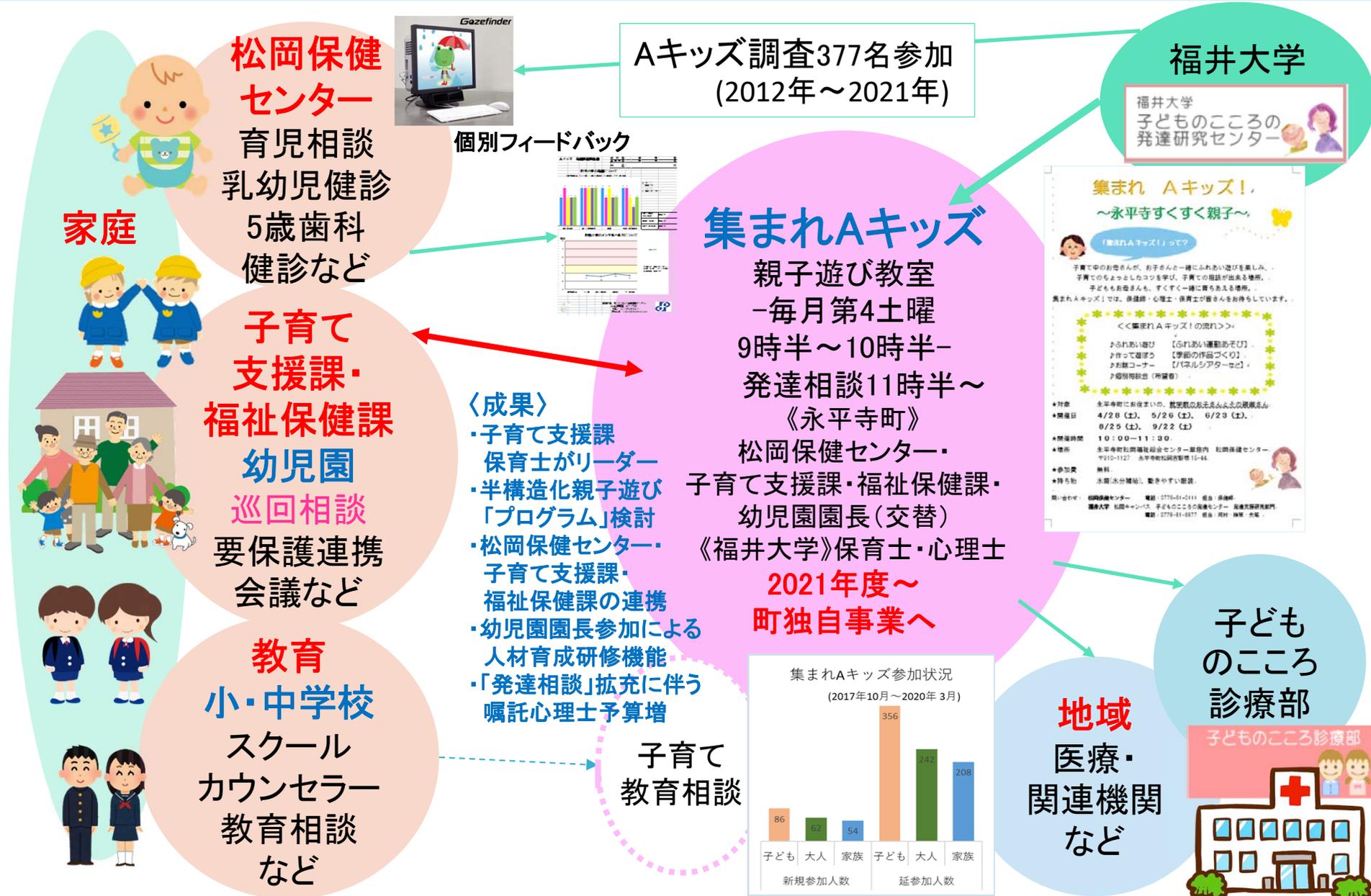
- ①松岡保健センターと子育て支援課が共催で担当することとなった。
  - ②半構造化した親子遊び「プログラム」を検討し、親の個別相談のニーズに合わせて、遊び場面の相談の他に「発達相談」の時間を「プログラム」後に増やし、回数も拡充した。
  - ③2019年6月～子育て支援課保育師が活動のリーダーの役割を担えるよう検討を重ね、町内の幼稚園（10園）園長も交替で参加し、今後は主任、担任保育師の研修の場となっていく予定である。
  - ④「発達相談」の回数が増えたことと合わせて、嘱託心理士2名分の町予算が拡充された。
- 3) 発達追跡研究「Aキッズ調査」に協力同意を得た377名の親子が、2022年には全員就学を迎えるため、社会性の発達や養育者自身の特性や養育認知などに関するアンケート調査を、引続き縦断的に実施していく。併せて、子どもが就学した後の「子育て相談」に関する現状把握、及び「集まれAキッズ」「発達相談」の認知度などについて追加アンケートを実施し、就学後に子育て困難に遭遇した養育者が「自ら援助希求できる・援助希求しやすい地域」を構築していくデータを回収、分析予定である。

### 参考文献・添付資料および特記事項等

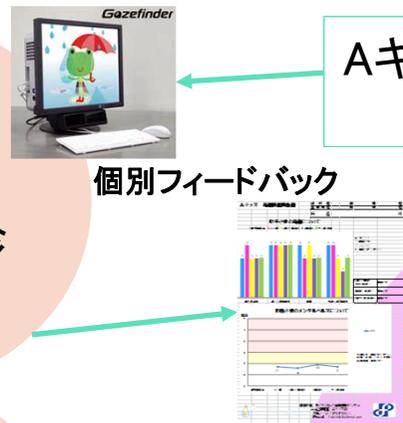
- 1.「集まれAキッズ」チラシ
- 2.当日の事業運営計画

# 事業名称:親子の相互作用を促し養育者の発達を期待した地域親子支援グループ(集まれAキッズ)の開催

事業責任者: 榊原信子(子どものこころの発達研究センター 学術研究員/連合大学院小児発達学研究科 博士課程3年)



Aキッズ調査377名参加 (2012年~2021年)



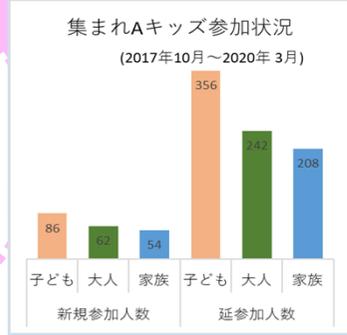
福井大学

福井大学  
子どものこころの  
発達研究センター

**集まれAキッズ**  
親子遊び教室  
-毎月第4土曜  
9時半~10時半-  
発達相談11時半~  
《永平寺町》  
松岡保健センター・  
子育て支援課・福祉保健課・  
幼児園園長(交替)  
《福井大学》保育士・心理士



- 《成果》
- ・子育て支援課 保育士がリーダー
  - ・半構造化親子遊び「プログラム」検討
  - ・松岡保健センター・子育て支援課・福祉保健課の連携
  - ・幼児園園長参加による人材育成研修機能
  - ・「発達相談」拡充に伴う嘱託心理士予算増



子どものこころ診療部  
子どもこころ診療部

地域医療・関連機関など